

カブドットコム証券株式会社  
 (コード番号：8703 東証1部)  
 代表執行役社長 齋藤 正勝

2011年11月25日

**「フリーETF」の対象銘柄に「国際のETF VIX中期先物指数」を追加**  
 ～ 上場初日から現物・信用手数料無料/フリーETFの売買代金は累計500億円 ～

カブドットコム証券株式会社は、2011年12月1日（木）に大阪証券取引所上場予定の「国際のETF VIX中期先物指数」を、特定のETF（上場投信）の売買手数料（現物/信用）を無料とするサービス「[フリーETF](#)」の対象銘柄といたします。

これにより「フリーETF」対象銘柄は、既存9銘柄に加え計10銘柄となります。この「フリーETF」は2010年6月18日からサービスを開始し、2011年11月24日（木）まで累計で注文件数も29万件を突破し、当社売買代金も約500億円と多くの投資家の皆さまにご利用いただいております。当社は今後も様々なアセットクラスの「フリーETF」を拡大していく予定です。

● **新規追加「フリーETF」対象銘柄、「国際のETF VIX中期先物指数」**

当ETFの対象指数である「S&P 500 VIX中期先物指数（S&P 500 VIX Mid-Term Futures Index Total Return）」は、シカゴオプション取引所に上場されているVIX指数先物の第4限月、第5限月、第6限月、第7限月をロールオーバーした場合のリターンを指数化したもので、短期先物指数と比較して、相対的にボラティリティは低く、相場変動が穏やかな局面でも指数が値下がりしにくいという特性があります。同指数は米国のS&P社が、2005年12月20日を基準日とし、その日の指数値を100,000として米ドル建で算出しています。

※「VIX」とは、ボラティリティ・インデックス（Volatility Index）を指します。VIX指数とは、S&P 500種指数のオプション取引の値動きをもとに算出・公表するものであり、将来の株式市場に対する投資家心理を示すものとして利用されています。数値が高いほど投資家が相場の先行きに不透明感を持っているとされます。

ファンド名	コード	取引所	投信会社	売買単位	手数料
<b>国際のETF VIX中期先物指数</b>	<b>1561</b>	<b>大証</b>	<b>国際投信</b>	<b>1株</b>	<b>無料</b>

円換算した「S&P500 VIX中期先物指数（トータル・リターン指数）」を対象株価指数とし、連動を目指すETF

● **【ご参考】現在取扱い中の「フリーETF」対象銘柄**

ファンド名	コード	取引所	投信会社	売買単位	手数料
<a href="#">MAXIS トピックス・コア30上場投信</a>	1344	東証	三菱UFJ投信	10株	無料

TOPIX Core 30に連動する投資成果を目的とするETF

<a href="#">MAXIS 日経225上場投信</a>	1346	大証	三菱UFJ 投信	1株	無料
日経平均株価（日経225）に連動する投資成果を目的とするETF					
<a href="#">MAXIS トピックス上場投信</a>	1348	東証	三菱UFJ 投信	10株	無料
東証株価指数（TOPIX）に連動する投資成果を目的とするETF					
<a href="#">MAXIS 海外株式（MSCIコクサイ） 上場投信</a>	1550	東証	三菱UFJ 投信	10株	無料
円換算したMSCI Kokusai Index（MSCIコクサイ インデックス）との連動を目指すETF					
<a href="#">JASDAQ-TOP20上場投信</a>	1551	大証	シンプレク ス	10株	無料
JASDAQ-TOP20との連動を目指し、JASDAQ-TOP20に採用されている株式に投資するETF					
<a href="#">国際のETF VIX短期先物指数</a>	1552	大証	国際投信	1株	無料
円換算した「S&P500 VIX短期先物指数（トータル・リターン指数）」を対象株価指数とし、連動を目指すETF					
<a href="#">ABF汎アジア債券インデックス・フ アンド</a>	1349	東証	SSgA	1株	無料
「iBoxx ABF汎アジア指数」を対象指数とし、連動を目指すETF					
<a href="#">MAXIS S&amp;P東海上場投信</a>	1553	名証	三菱UFJ 投信	10株	無料
「S&P 日本地域別指数-東海-」を対象指数とし、連動を目指すETF					
<a href="#">SPDR®S&amp;P500® ETF</a>	1557	東証	SSgA	1株	無料
「S&P500指数」を対象指数とし、連動を目指すETF					

### ● 「フリーETF」 サービス概要

サービス名称	フリーETF（手数料無料のETF）
対象銘柄	当社が定めるETF（上場投信）
対象取引	現物取引、信用取引
手数料（税込）	無料（取引チャネル、注文方法に関わらず）

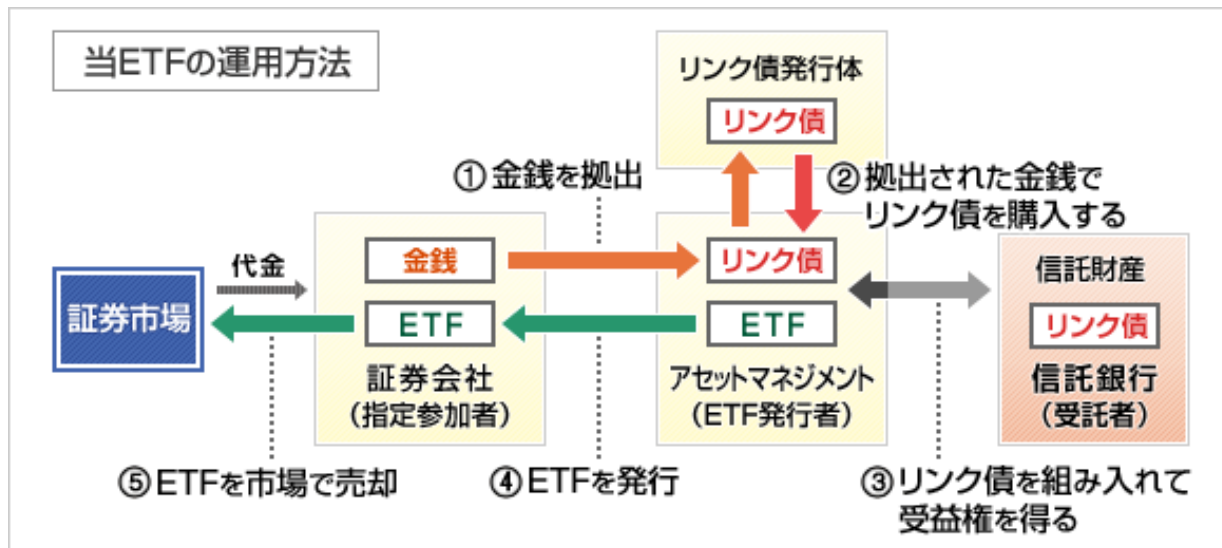
### ● 「フリーETF」 専用ホームページ

当社は、この「フリーETF」サービスの提供を通じて、様々な投資家のニーズにマッチ

する利便性の高い金融商品であるETF（上場投信）を、幅広いお客さまに知っていただけるよう、[「フリーETF」専用のホームページ](#)でご案内しております。

### ●当ETFの運用方法

当ETFの運用方法であるリンク債型は、指定参加者がETF発行者に金銭を拠出して、ETF発行者が株価指数と連動して変動するリンク債を購入する形式です。この方式は、株式バスケット型を用いることが難しい新興国の株価指数に連動するETF等で用いられています。（下図）



わたしたちはMUFGです。 